

人は未来を急ぎすぎる。あまりに多くの未清算の過去を残したまま……
 壮大な構想による「神と人とのあいだ」二部作を、初めて一挙上演！

第二部 夏・南方のローマンス 演出―丹野郁弓
 第一部 審判 演出―兒玉庸策

作―木下順二

神と人とのあいだ

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）

2月24日〔土〕―3月10日〔土〕
 紀伊國屋サザンシアター
 TAKASHIMAYA〔新宿南口〕

Illustration: Takashi Kitami Design: Taro Matsuyoshi

2018

劇団民藝上演作品

2-3月

紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

作―木下順二

神と人とのあいだ

第一部 審判

演出―兒玉庸策

第二部 夏・南方のローマンス

演出―丹野郁弓

第一部・第二部、二作品の一挙上演。

6月

紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

作―佐藤五月 演出―中島裕一郎

ペーパームーン〔仮題〕

海と山に囲まれた小都市の町の一角。忘れられない記憶を宝物にして生きている人たちの、すれ違いの恋ものがたり。ラブレターの山も棄てられず、一枚のはがきと郵便ポストに託されたものとは…。伊藤野枝と印刷屋の出戻り娘を描いた『帯に短し…』や、港町木更津を舞台にした人情喜劇『待てば海路の…』につづく痛快な現代劇。粋なせりふと意表をつく芝居づくりで定評のある佐藤五月の新作。

◎主な出演者

梶山文枝 桜井明美 西川 明 ほか



梶山文枝



桜井明美



西川 明

9-10月

紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

作―黒川陽子 演出―丹野郁弓

時を接ぐ〔仮題〕

岸 富美子・石井妙子「満映とわたし」(文藝春秋刊)より

太平洋戦争の開戦間近、満洲へ渡り国策映画会社〈満洲映画協会〉で、映画編集者として働いたひとりの女性技師。日本の敗戦後も中国に残り、若き中国映画人の指導にあたった岸富美子のヒューマンストーリーをもとに、複雑怪奇な力関係が働く映画会社の中で、「創造」というひと筋の目的にむかって、国や民族の壁を超えて協力した人びとの姿を力強く描く。『ハルメリ』、『相貌』、ミュージカル『人間の条件』(共作)などで注目の劇作家、黒川陽子書き下ろし。

◎主な出演者

日色ともゑ ほか



日色ともゑ

12月

三越劇場

作―斎藤 憐 演出―丹野郁弓

グレイクリスマス

1945年のクリスマス。五條伯爵家の離れではすでに賑やかな宴がはじまっている。竹ぼうきををもって歌い踊りまわる使用人たちのブギウギ。敗戦で天皇は人間になり、華族制度は廃止。鐘の鳴る丘を聞くと泣き出してしまう闇屋の少年。ピアノから流れるベートーベン月光ソナタ。在日朝鮮人が歌う螢の光……。激動と混乱の5年間、焼跡からどんな日本が誕生したのか。初演から26年、斎藤憐の傑作喜劇『グレイクリスマス』を岡本健一さん客演で新演出・新キャストにより上演。

◎主な出演者

中地美佐子 神保有輝美 塩田泰久

岡本健一〔客演〕 ほか



中地美佐子



神保有輝美



塩田泰久



岡本健一



©島崎信一

2018年のレパトリーは、木下順二さんの「神と人とのあいだ」第一部・第二部の一挙上演からはじまり、すべて日本の創作劇が並びました。劇団民藝のこれまでを振りかえり、これからを展望する年となりそうです。社会とのかかわりのなかで、舞台と客席とがひとつとなり、演劇という華を生活のなかに根づかせていきたい。これからもどうぞ変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

奈良岡朋子

原作―井伏鱒二 上演台本―笹部博司
 演出―丹野郁弓

黒い雨

◎地方公演

原作―アンネ・フランク
 脚色―フランスス・グッドリッチ
 アルバート・ハケット

訳・演出―丹野郁弓

アンネの日記

作―長田育恵 演出―丹野郁弓

SOETSU

韓くにの白き太陽

作―吉永仁郎 演出―高橋清祐

大正の肖像画

作―畑澤聖悟 演出―丹野郁弓

光の国から僕らのために

―金城哲夫伝―

◎稽古場公演 〔未定〕

「審判」「夏・南方のローマンス」二作品をご覧になれる方へ。

◎通し券で10,000円でご覧いただけます。

(『神と人とのあいだ』パンフレット贈呈)

◎民藝の仲間にご入会いただきますと、「審判」および「夏・南方のローマンス」を含む東京公演5作品を年間会費20,000円でご覧いただけます。

2018年〈民藝の仲間〉ご入会のお誘い 年間20,000円(税込)で 東京公演5作品すべてにご招待!

「民藝の仲間」は年間会員制の後援会です。

東京公演ご招待とあわせて、観劇の楽しさをプラスする演劇ならではの新たな出会いや交流のサロンをご用意しています。



ご入会いただきますと……

◎年間の東京公演5作品すべてにご招待します

◎ご希望日にチケットをおとりします

◎毎公演のパンフレットを贈呈します

◎月刊紙「民藝の仲間」をお送りします

◎ご同伴は割引料金で

お求めになれます

◎出演者との交流会やアフタートーク、バックステージツアーにお誘いします

◎稽古場公演や散歩の会、舞台扮装を描く会、喫茶店の集いなどにお誘いします

購読会員制度

月刊紙「民藝の仲間」が定期購読できます。

12ヶ月1,000円(随時受付)。東京公演のチケットは割引になります。

バリアフリー観劇

無料託児(土・日・祝の昼公演)／車イス席・補助犬・点字チラシ・点字パンフレット
 俳優による月刊紙「民藝の仲間」音読CD／バリアフリー割引
 事前舞台説明会・上演台本貸出など

◎お申し込み・お問い合わせ

劇団民藝

TEL ― 044(987)7711 〔月～土 10時～18時〕

FAX ― 044(986)0034

e-mail―seisaku@gekidanmingei.co.jp

ホームページ―www.gekidanmingei.co.jp

●劇団民藝公式HP／ツイッター／フェイスブック「劇団民藝」で検索下さい

●スタッフ	
作……………	木下順二
演出〔第一部〕……………	児玉庸策
演出〔第二部〕……………	丹野郁弓
装置……………	島次郎
照明……………	前田照夫
衣裳……………	緒方規矩子
効果……………	岩田直行
振闘指導……………	森岡隆見
舞台監督〔第一部〕……………	風間拓洋
舞台監督〔第二部〕……………	中島裕一郎



『ものがたり』敗戦の翌年から二年半にわたって行われた「東京裁判」（極東国際軍事法廷）。東条英機らA級戦犯が裁かれたこの歴大な速記録をもとに、木下順二が深刻かつ滑稽な裁判劇に再構築。第一幕は、従来の国際法にはなかった「平和に対する罪」（A級）のありかたを、第二幕ではヴェトナムでの日本軍の残虐行為が裁かれ、第三幕はアメリカの原爆投下に大きな焦点があたえられる。息づまるような議論の応酬。そこには大国のエゴや駆け引きがあり、戦争と人間への本質を衝くドラマが描かれていく……。

●キャスト	
判事A（トリーランド）……………	今野鷄三
首席検証人（日本人）……………	安田正利
首席検察官（アメリカ人）……………	神敏将
裁判長（オーストリア人）……………	千葉茂則
弁護人A（アメリカ人）……………	高野大
弁護人B（アメリカ人）……………	山本哲也
検察官A（フランス人）……………	西川明
検察側証人A（フランス人）……………	小杉勇二
弁護人C（アメリカ人）……………	吉岡扶敏
弁護人D（日本人）……………	松田史朗
弁護人E（アメリカ人）……………	伊藤孝雄
検察官B（イギリス人）……………	境賢一
検察官C（ロシア人）……………	杉本孝次
弁護人F（アメリカ人）……………	水谷貞雄
弁護人G（アメリカ人）……………	内藤安彦
弁護人H（日本人）……………	高橋征郎
法廷書記（アメリカ人）……………	みやざこ夏穂
言語モニター……………	大野裕生
判事……………	天津民生
M P……………	平松敬綱
	細山誉也

第二部 夏・南方のローマンス

『ものがたり』敗戦数年後のとある公園。ある上等兵が南方の島で絞首刑を宣告された。愛人であった女漫才師は、ある日ついに彼の妻に会いに行く。折から通りかかった戦友たち。なぜ上等兵は殺され、戦友たちは助かったのか。やがて明らかにされていく南方でのB C級戦犯裁判。島民虐殺を命じた参謀中佐の刑が軽く、通訳だった上等兵が「人道に対する罪」を問われ、極刑となる。悪い夢だったとつぶやく戦友たち。夢ですまされるかと、かみつく女漫才師。もう何もかも忘れたい、という上等兵の妻。いったい誰が誰を裁いたのか？ やり場のない憤りに身をもてあまし、一人残された女漫才師の心に、上等兵はたしかに生きつづけているのだった……。

●キャスト	
男A……………	齊藤尊史
男B……………	細山誉也
男C……………	吉岡扶敏
少年・島民の少年……………	（子役）
女A……………	桜井明美
女B……………	中地美佐子
旅団長……………	伊藤孝雄
民政部長……………	小杉勇二
参謀……………	本廣真吾
男D……………	平松敬綱
男E……………	境賢一
男F……………	塩田泰久
裁判長……………	山本哲也
陪席列士……………	大野裕生
陪席列士……………	天津民生
検察官……………	仁宮賢
弁護人……………	みやざこ夏穂
外国人兵士……………	神敏将
島民の女A……………	仲野愛子
島民の女B……………	伊木瑠里
島民の男……………	高野大



2013年「夏・南方のローマンス」の舞台より



2006年「審判」の舞台より



出演者

内藤安彦	水谷貞雄	伊藤孝雄	安田正利	今野鷄三	小杉勇二	高橋征郎	杉本孝次	松田史朗	西川明	山本哲也	千葉茂則	境賢一	桜井明美	中地美佐子
みやざこ夏穂	齊藤尊史	吉岡扶敏	天津民生	高野大	神敏将	塩田泰久	平松敬綱	本廣真吾	大野裕生	細山誉也	仁宮賢	伊木瑠里	仲野愛子	伊藤孝雄



木下戯曲を貫く「未清算の過去」。生涯をかけたテーマとして戦争責任の問題を追及し、民藝に書き下ろされた神と人とのあいだ「二部作。しかし『審判』（1970年初演、2006年再演）と『夏・南方のローマンス』（1987年初演、2013年再演）とはこれまで独立して、別々にしか上演されてきませんでした。互いに呼応し、かねてより連続上演が望まれていたこの衝撃の二作品を、劇団の総力をあけて初めて一挙上演いたします。

連合国による東京裁判をスリリングな論理や語調で描く第一部と、無法がまかり通る軍事法廷の悪夢を女漫才師の日常的な視点から描いた第二部。「どうしても取り返しつかないことをどうしても取り返す」ために、この二部作上演は戦後日本の痛恨の出発点を捉えてやまないでしょう。



木下順二〔1914－2006〕

東京・本郷生まれ。1949年『夕鶴』をはじめ、戦後の日本演劇を代表する劇作家として、『風浪』『オットー』と呼ばれる日本人『沖縄』『子午線の祀り』などを発表。戯曲のほか小説、演劇評論、シェイクスピア翻訳など幅広い分野にわたり活躍。1991年『巨匠』が最後の劇作に。

2018年2月24日〔土〕—3月10日〔土〕 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA〔新宿南口〕

●前売開始＝2017年**12月1日**〔金〕より

●**入場料金**〔全席指定・税込み〕＝一般：**6,300円**

U25〔25歳以下〕：**3,000円**〔劇団のみ取扱い、要証明書〕

夜チケット：5,000円〔夜公演全席〕

一部・二部通し券＋パンフレット贈呈：10,000円

〔一部・二部別の日でもご観劇いただけます|劇団のみ取扱い〕

※民藝の仲間にご入会いただきますと、「審判」「夏・南方のローマンス」を含む東京公演5作品を年間20,000円でご覧いただけます。



バリアフリー観劇情報（ご利用の際は必ず事前にご連絡ください）

※バリアフリー割引あります。
※無料託児サービス 土・日のみ承ります。
※車イス席・補助犬・点字チラシ・点字パンフレット承ります。
※視覚障害者対象・事前舞台説明会＝3月2日、4日 12:45～
※聴覚障害者対象・台本事前貸出申込先＝FAX 044（986）0034
E-MAIL＝seisaku@gekidanmingei.co.jp（当日受付でも筆談対応可能）
⇒詳細はHPで
共催＝一般社団法人劇団民藝

「審判」「夏・南方のローマンス」の2演目を上演します。

2月3月	2/24〔土〕	25〔日〕	26〔月〕	27〔火〕	28〔水〕	3/1〔土〕	2〔日〕	3〔月〕	4〔日〕	5〔月〕	6〔火〕	7〔水〕	8〔木〕	9〔金〕	10〔土〕
13:30	審	審	夏		審	休	審	審	夏	夏		夏	夏	審	夏
18:30	夏			審	夏			夏	★	★		審		審	

〔審〕＝第一部 審判

〔夏〕＝第二部 夏・南方のローマンス

☆＝3月2日〔金〕:「審判」、3月4日〔日〕:「夏・南方のローマンス」 出演者との交流会

★＝3月5日〔月〕:バックステージツアー（各公演終了後／参加費無料）

●**お申し込み・お問い合わせ**

劇団民藝＝**044(987)7711**〔月～土 10時～18時〕

劇団民藝青山事務所＝**03(3401)5131**

ホームページ＝**www.gekidanmingei.co.jp**

●チケットびあ＝<http://pia.jp/> Pコード 482-643

セブン-イレブン、サークルK・サンクス、チケットぴあ店舗

●ローソンチケット＝オペレーター対応 0570(000)407〔10時～20時〕

Lコード予約 0570(084)003 Lコード 32898

●イープラス＝<http://eplus.jp/>〔パソコン・携帯〕

●キノチケットカウンター〔新宿駅東口・紀伊國屋書店新宿本店5F〕

店頭販売＝10時～18時30分 キノチケットオンライン <https://www.kinokuniya.co.jp>

